

岩淵龍太郎先生を偲んで コンサートと感謝の会

主催：「岩淵龍太郎先生を偲んで」コンサートと感謝の会 実行委員会



共催：京都コンサートホール（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）／京都市

後援：京都市立芸術大学音楽学部／京都市立芸術大学音楽学部同窓会 真声会／

京都東ロータリークラブ／公益財団法人京都文化財団／クラヴィス音楽研究所／

一般社団法人日本弦楽指導者協会（五十音順）

協力：アマデウス音楽協会

日時

2017年1月5日(木)

午後3時開演（午後2時30分開場）※未就学児のご入場はご遠慮ください。

場所

京都コンサートホール アンサンブルホールムラタ

プログラム

【第1部】コンサート 午後3時～

バーバー……………弦楽のためのアダージョ op.11

パッハ……………ブランデンブルグ協奏曲第3番ト長調 BWV1048

チャイコフスキー……………弦楽セレナーデ ハ長調 op.48

モーツァルト……………アイネ・クライネ・ナハトムジーク K.525

出演者 〓 四方恭子, 豊嶋泰嗣 (ヴァイオリン), 上村昇, 河野文昭 (チェロ),

神戸市室内合奏団・京都市立芸術大学卒業生などゆかりの弦楽器奏者

※出演者・曲目などは都合により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

【第2部】感謝の会 午後5時～（ホールロビーにて軽食とお飲み物をご用意いたします）

入場料

コンサート 3,000円（全席自由）

コンサートと感謝の会 6,000円（300枚限定）

※制限枚数に達した時点で販売終了とさせていただきますので、ご了承ください。

チケット発売 10月1日

京都コンサートホール・チケットカウンター (075-711-3231) 10:00～17:00 第1,第3月曜日・年末年始は休館

ロームシアター京都・チケットカウンター (075-746-3201) 10:00～19:00 年中無休(臨時休館日除く)

オンラインチケット購入 <http://www.kyotoconcerthall.org>

インターネットで24時間いつでも! 詳しくはWEBで 京都コンサートホール・ロームシアター京都のホームページからオンラインチケット購入をクリック!

JEUGIA三条本店APEX管楽器 (075-245-3750) 10:30～20:30

アマデウス音楽研究所 (075-314-1928 Fax 075-314-0615)

チケット

お問い合わせ

アマデウス音楽研究所 (075-314-1928 Fax 075-314-0615)

目を閉じれば、にこやかな表情でひよいと腕を挙げ挨拶される岩淵龍太郎先生のお姿が思い浮かびます。普段から私生活をあまりお見せにならず飄々と過ごされていた先生は、私たち門下生に広く知らせる事なく療養生活を続け、2016年1月5日鬼籍に入られました。

そんな先生を偲んで門下生が集まり、「岩淵龍太郎先生を偲ぶ～コンサートと感謝の会」を開催いたします。私が本会の実行委員長に推挙されたのは、先生が1962（昭和37）年京都市立音楽短期大学教授に就任された年に、同校に入学した、すなわち門下の一期生であるという奇縁にほかなりません。その後先生は、退任される1993（平成5年）まで31年に亘り、数多くの学生を指導されました。アンサンブルの授業も含めれば300名を超える弦楽器専攻の学生が先生の薫陶を受けたことになります。この度のコンサートには、現在京都芸大で学生の指導にあたっておられるヴァイオリン奏者、四方恭子教授と豊嶋泰嗣准教授にご出演をお願いしました。また、岩淵先生がもっとも信頼を寄せておられたチェリスト、故黒沼俊夫門下生である、上村昇（京都市立芸術大学教授）、河野文昭（東京芸術大学教授）両氏も駆けつけてくださいます。またコンサートを締めくくる「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」には、各地で活動する多くの門下生が参集する予定です。

当日は、岩淵龍太郎評伝（執筆：樋口騰迪、監修：伊東信宏）を配したプログラム（編集・装幀：林哲夫）を配布いたします。音楽、活字、そしてみなさんとの語らいを通して、日本に於ける戦後クラシック音楽界をリードされ、また京都の音楽界の発展にも多大な貢献をされた岩淵先生の足跡を振り返ることができればと思います。

皆さん夫々岩淵先生に纏わる思い出をお持ちのことと思います。音楽関係者に限らず広くお集まりいただければ幸いです。

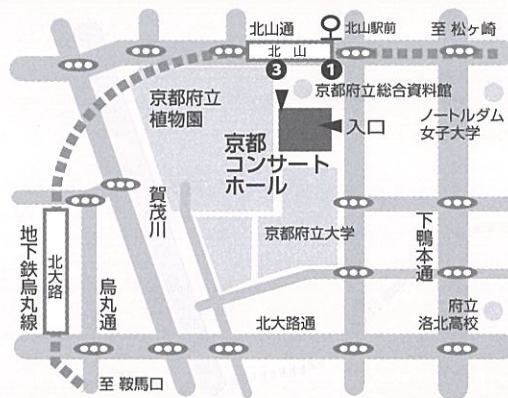
「岩淵龍太郎先生を偲ぶ～コンサートと感謝の会」実行委員長
元大阪フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター
藤井允人

岩淵龍太郎（いわぶち・りゅうたろう）

1928年大連に生まれる。9歳よりヴァイオリンを始め、ヴィリー・フライに師事。1939年第8回毎日音楽コンクールにおいて第二位入賞。その後第一高等学校を経て、東京大学法学部へ入学。在学中の1949年に日本交響楽団（現NHK交響楽団）に入団、翌年にはコンサートマスターに就任し、1956年に退団するまでその任にあった。1953年にプロムジカ弦楽四重奏団を結成、翌年シェーンベルク作品の演奏により毎日音楽賞を受賞する。1962年にはベートーヴェンの弦楽四重奏曲全曲を演奏し、「日本に本当のクワルテットが誕生した」（菅野浩和）など賞賛を博して、同年度の芸術選奨を受けた。また神戸室内合奏団音楽監督・常任指揮者も務める。1961年、桐朋学園大学助教授に就任して以来、後進の育成にも力を注いだ。翌年、京都市立音楽短期大学教授。京都市立芸術大学音楽学部創設にも尽力し、1969年よりは同大学教授。1993年に定年退官後、1995年より京都コンサートホール初代館長（～2003年）に就任、その後も京都を中心として音楽文化の発展に寄与する。脳梗塞を発症し、治療を続けていたが、2016年1月5日呼吸不全のため死去。日本弦楽指導者協会名誉会員。1990年京都市文化功労者として表彰されたほか、勲三等旭日中綬章、ポーランド共和国文化功労勲章を受章。



読書する岩淵先生（昭和33年ごろ）



■電車でお越しの場合
京都市営地下鉄烏丸線 北山駅下車 1番または3番出口 南へ徒歩5分
■車でお越しの場合
駐車場：8:00～23:00 約100台収容可能 30分ごとに250円



京都コンサートホール
KYOTO CONCERT HALL

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-26
TEL:075-711-2980 FAX:075-711-2955
休館日：第1・第3月曜日（休日の場合はその翌日）、年末年始